

週間市場レポート (2020年5月25日~5月29日)

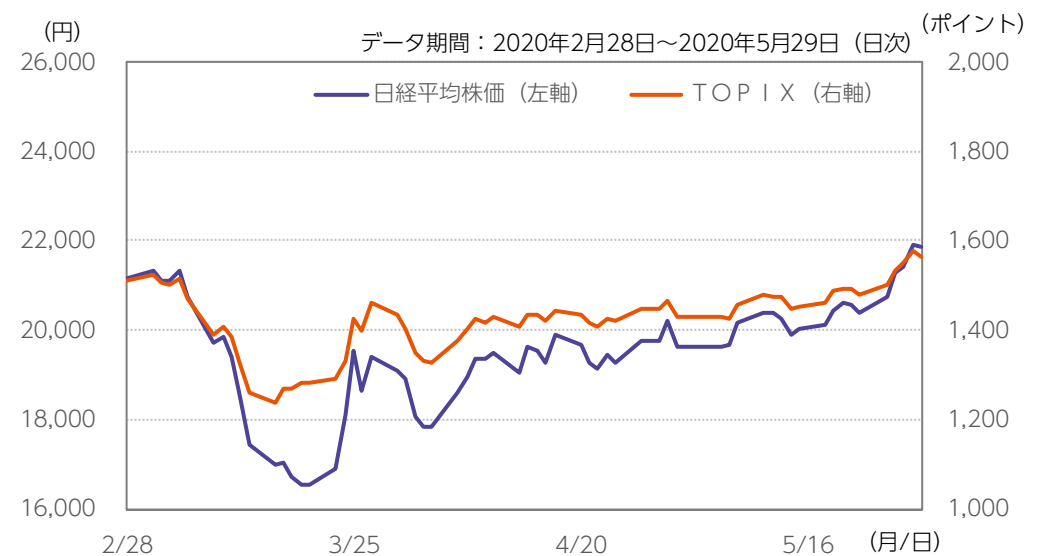
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/5/22	先週末 2020/5/29	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		20,388.16	21,877.89	7.31 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,477.80	1,563.67	5.81 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		24,465.16	25,383.11	3.75 ↗
S & P500種指数		2,955.45	3,044.31	3.01 ↗
ユーロ・ストックス50指数		2,905.47	3,050.20	4.98 ↗
S & P/ASX300指数		5,469.98	5,727.25	4.70 ↗
上海総合指数		2,813.77	2,852.35	1.37 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		736.21	752.96	2.28 ↗
東証REIT指数		1,619.89	1,701.03	5.01 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		619.68	651.58	5.15 ↗
ASX300 REIT 指数		1,167.50	1,236.00	5.87 ↗
グローバルREIT (除く日本)※		145.87	152.78	4.74 ↗
日本10年国債 (%)		0.00	0.01	0.01 ↗
米国10年国債 (%)		0.66	0.65	▲0.01 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.49	▲0.45	0.04 ↗
英国10年国債 (%)		0.17	0.18	0.01 ↗
ドル/円		107.64	107.83	0.18 ↗
ユーロ/円		117.32	119.77	2.09 ↗
英ポンド/円		130.98	133.08	1.60 ↗
豪ドル/円		70.36	71.92	2.21 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,802.31	1,852.49	2.78 ↗
WTI原油先物 (ドル)		33.25	35.49	6.74 ↗
CRB 指数		129.53	132.24	2.09 ↗
アレリアンMLP指数		783.32	794.94	1.48 ↗

2) 日本の株式・債券市場

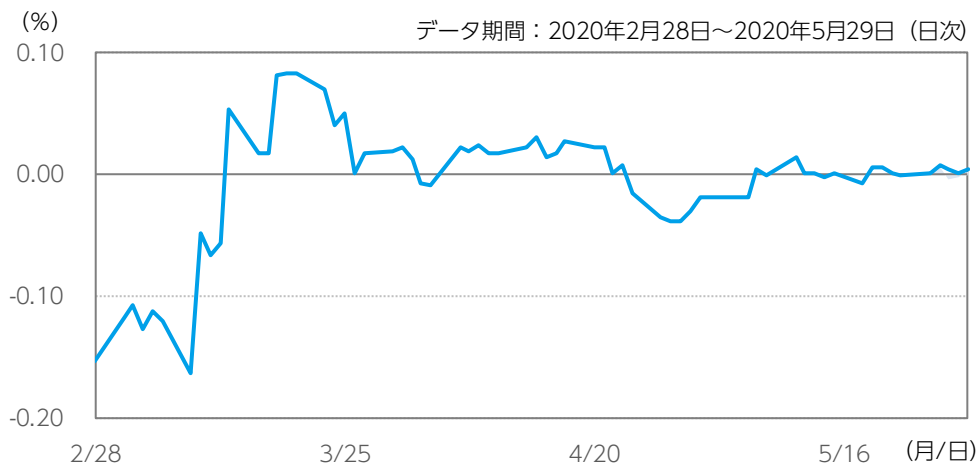
≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。緊急事態宣言が全面的に解除され、経済活動が再開に向かうとの期待が高まったことなどから、週を通じて上昇基調となりました。政府が2020年度第2次補正予算案を決定したことも投資家心理の改善を促し、28日（木）はおよそ3ヵ月ぶりの高値となったものの、週末は、香港治安法をめぐる米中対立が深刻化するとの見方から売りがやや優勢となり、小幅に下落となりました。



≪ 債券 ≫

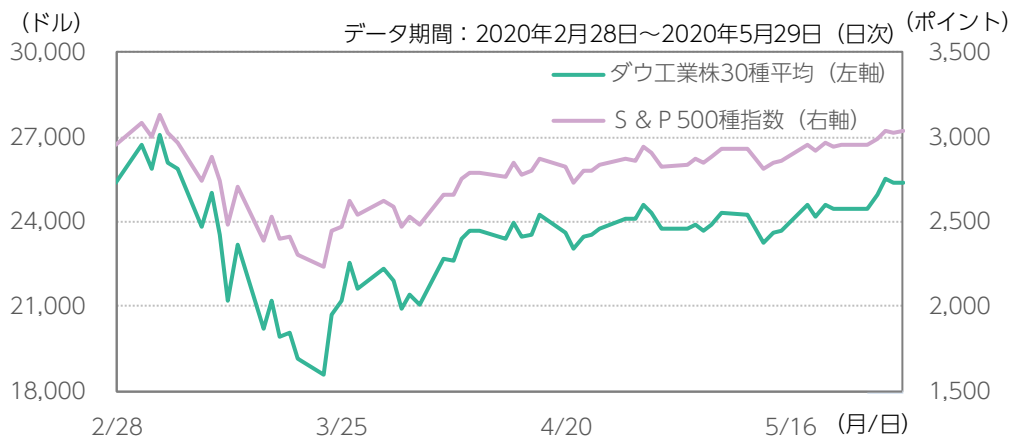
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました。日経平均株価の上昇を受け、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、相対的に安全資産とされる債券は売りがやや優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

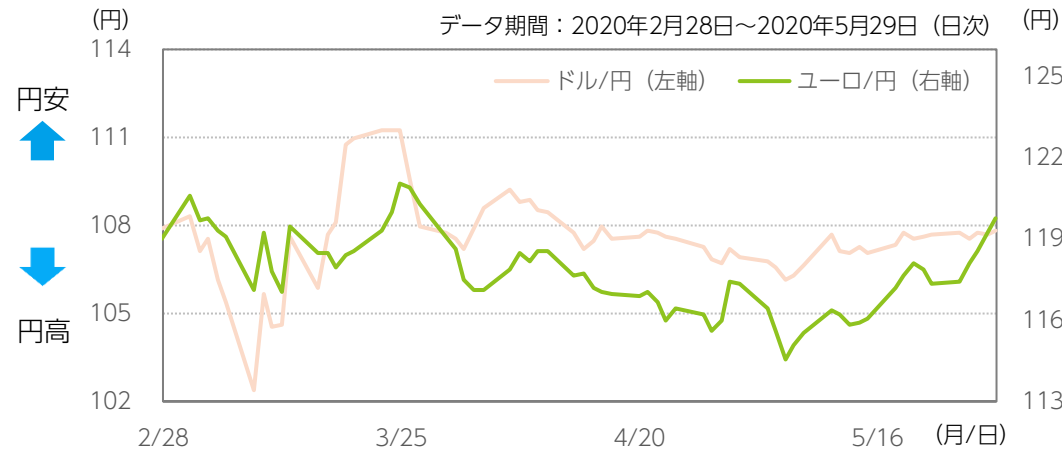
≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。経済活動の再開による景気回復への期待感や、新型コロナウイルスの治療薬やワクチン開発の進展期待などを背景に、週を通じて上昇基調となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。香港をめぐる米中対立懸念が高まったものの、日経平均株価の上昇を受けたリスク選好姿勢の強まりによる円売りがやや優勢となりました。ユーロは、欧州の大規模な景気刺激策の発動期待から、大幅な円売りユーロ買いが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、先進国を中心とした経済活動の正常化期待などを背景に、日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

25日（月）に国内の緊急事態宣言が全面解除され、東京都が休業要請や外出自粛要請を段階的に緩和方向へ進めるなど、経済活動の再開への期待が高まりました。しかし、東京都の新規感染者数が29日（金）に、およそ2週間ぶりに20人を超えるなど、足元では感染第2波の警戒感が強まっています。また、ブラジルなどを中心に新興国で感染ペースが急拡大しており、世界の累計感染者数が600万人を超え、世界経済の先行きへの不透明感は継続するとみられます。

制限緩和を行った国々において感染第2波の警戒感が強まる中、足元では「香港国家安全法」をめぐる米中関係の更なる冷え込みも懸念されています。今週の株式市場は、感染第2波への警戒感と米中関係の先行き不透明感が懸念材料となり、上値の重い展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>